

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4490600022		
法人名	有限会社 ふくすけ		
事業所名	グループホームふくすけ		
所在地	大分県臼杵市大字戸室字長谷1135番地の1		
自己評価作成日	令和5年11月13日	評価結果市町村受理日	令和6年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	令和5年12月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年度は「利用者様に丁寧な言葉で、仲間を信じて新型コロナに向かい合おう」をスローガンに掲げ、頃からの利用者様への言葉使いを見直し、利用者様居心地がよい生活環境を整える更に新型コロナだけでなく、インフルエンザ等にも気を配りながら少しずつ開かれた面会、地域参加をしていきました。又、各ユニットリビングへのカメラ野設置を行い、家族の安心や信頼の声もいただきました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・利用者本位の支援に心掛けており、画一的な支援ではなく一人ひとりの気持ちに沿って今望まれている支援に努めている。
 ・歌を歌ったり体操したり、毎日自分の名前を書くなど利用者は生き活きと毎日を送っている。笑顔が見られる。
 ・職員同士のチームワークが良くにこやかに支援が行われている。
 ・協力医や訪問看護師との連携が取れており、安心して暮らすことが出来ている。
 ・空気清浄機を設置したり換気に気を付けるなどしてコロナ感染を防いでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼後に理念を復唱して1年間のスローガンを設けて、管理部会議、ケア職員会議で話し合い実践して取り組んでいる。	ユニットごとに分かれて理念の共有と実践に取り組んでいる。言葉使いに気を付けるように心掛け、業務の中で意識して関わることが出来る。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ以前ほどではないが、地域行事に参加・交流が出来つつある。その内容は新聞やブログで地域に発信している。	地区のふれあい祭りに出店しており、利用者とは一緒に調理など下準備を行っている。地域の方が時々面会に来てくれて交流を図っている。ブログで施設の情報を発信している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	全職員が研修・会議等でレベルアップに努めていく中で、地域の会議に参加して実践から得た事を発信していく。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議であげられたことを利用者様の認知症の型ごと色分けシールを貼り転倒予防や、声掛けの仕方に気をつけている。	5月以降は対面で会議が行われている。参加者の提案により居室入り口にシールを貼り、認知症の型がわかるようにしている。対応の仕方を確認することが出来る。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者と運営推進会議を中心に事業所の実情やケアサービスの取り組み等の連携を取っている。石仏ネットにも加入している。	市には常に相談をするなどして連携を取っている。新しい情報があればすぐに連絡があり、指導を受けたりする。空き家バンクに登録しており最新情報を得ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアだけでなく、スピーチロックやドラックロックの事について話し合う。	毎年研修を受けている。職員会議で事例を基に検討している。家族の了承を受けてセンサーマットを使用しており、3ヶ月に1回見直しをしている。眠剤が効き過ぎていないか話し合っている。日中は玄関や門扉は施錠せず、自由に外に出る事が出来る。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止を図るべく毎月のケア会議の中で議題にあげるが、ネグレクトでオムツ交換時PTイレの片付け等についても話し合う。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	オンライン研修や成年後見制度の担当者と話することで理解を深める。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書、契約書についてご家族からの退去の申し出や事業者側から退去の申し出には、丁寧に説明を行う。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今年のご家族様アンケートでユニット/リビング内のカメラ設置の意見を反映して取り付けました。	年に一度家族よりアンケートを取っている。面会時に要望などを聞いたりしている。意見を言いやすい雰囲気づくりに心掛けている。要望によりリビング内にカメラを設置して、安全に気を付けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、ケア職員会議を設けて職員より意見聴取を行い運営改善に努める。	ケア会議時や直接主任などに意見を言うことが出来、合同会議で検討している。社会保険や勤務時間など職員各自の都合が言え、考慮してもらっている。産休については代替職員を入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	現場で起きている状況や変化を把握し職員の努力や成果について評価に努め、雇用環境改善、職場環境改善を積極的に行う。健康診断の実施(夜勤専従者は年2回)や職員の心身の健康状態の把握、健康管理センター医師との面談も実施している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は新任職員の施設内研修を行い、働く上での不安やモチベーションなどの心の変化に寄り添えるように努めている。オンライン研修を取り入れて職員全体のチーム力向上を常に考えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、積極的に研修に参加をして、関係施設、地域交流の場から情報収集を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様と面会できる限り情報収集を行う。入居後はできる限りの関わりと信頼を得て安定した生活に努めていく。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の思いや、これまでの生活について話を聞きこれからの対応について話を進めながらご本人様とともに関係性を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設入居前よりご本人とご家族様と面会し状態把握に努めている。必要であれば他のサービスに繋げるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様とコミュニケーションを持ち、不安や喜びを職員全体で把握して利用者様の思いに寄り添い安心して生活が送れるように共に支え合う関係性を築くよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の日々の出来事や状況を毎月手紙や施設新聞で報告している。来訪時や電話にて状況説明を行い、関係性を築くようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様が暮らしていた地域にドライブに出かけたり知人や友人が面会に来られた際には交流が図れるよう、又電話で話ができるよう支援している。	行きたいところにドライブに出掛けるなどして少しずつ馴染みの場所を復活している。オレンジカフェにも行きたい。家族に電話を掛ける支援をしたり、友人から電話が掛かって来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が良い関係が続くように職員は話を傾聴し情報を共有し楽しく過ごせるような雰囲気作りに努め利用者様同士の関係性を築きやすくするよう支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設や病院入院等で契約が終了後も安定した生活ができるように情報提供・支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人に面接・ご家族様・職員からの聞き取りを実施し、希望や生活の意向確認を行っている。意思確認が難しい方には周囲の情報をもとに検討している。	引継ぎノートを見たり職員からの聞き取りで状態を把握している。状態変化の時は直接話を聞いており、家族には電話で聞いている。言葉で表現できない利用者にはわかりやすい言葉かけをし、表情などで思いを感じ取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人へのアセスメントや、ご家族様・事業所などから情報を収集しこれまでの生活状況の把握に努めている。新規の方は、ご自宅や病院等に訪問させていただく事もある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の1日の生活リズムを理解し、ご本人のペースで生活が送れる様に支援している。できる事有する能力の把握に努め自立支援を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所時・様子変化時・短期目標終了時・更新時等、本人・ご家族様と相談、ケア会議で検討。入院の方が退院の際は、ご家族様や、リハ・看護師・医師・相談員等との意見交換をもち、現状に適した介護計画を作成。	引継ぎノートを見たり直接職員から話を聞いている。月1回モニタリングを行っている。定期的な見直しや状態変化の時はその都度見直しを行っている。ケア会議、職員会議、管理部会議などで検討している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の暮らしの様子や、身体変化、介護の様子、エピソード等を介護記録や支援経過に入力。引継ぎノートで職員との情報共有を図りケアの実践や、計画の見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍やインフルエンザで外部との関わり減を余儀なくされている現状がある。窓越し面会、電話等の対応を実施している。車イスになられた方の回復に向けたリハビリを包括と相談。リハ職員が来所指導して下さった事がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議は、感染症拡大が予測される時期にはZOOM開催するなどして情報交換を行う。利用様の散歩やドライブの実施、日常生活動作の洗濯物干し等出来る事はお手伝い頂き能力低下防止に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後も居宅時と同じかかりつけ医に受診できるように支援。通院時は、施設での様子を報告・相談しながら、少しでも変化があれば訪問看護・ご家族とも情報を共有している。	入居以前のかかりつけ医をそのまま継続している。訪問診療や訪問歯科を利用している。訪問看護を2週間に1度利用している。通院は職員が同行している。緊急時は家族に連絡し行けない時は職員が同行し結果を家族に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は、施設と連携して訪問看護師に情報を提供。病院・訪問看護師・施設職員・ご家族との連携は常に心掛け、利用者様の安心・安全な生活の継続に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時は、病院への情報提供を行い、リハビリ開始時からは退院後施設での生活がスタートした際ADLの具体的な目標を設定している。必要であれば、病院・施設・訪問看護でカンファレンスを実施。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に書面で説明確認を行っている。状態の急激な変化に合わせて、病院・施設・訪問看護・ご家族で連携し急変時の対応の確認を行っている。	入居時に重度化した場合の施設の方針を説明している。状態変化の時はその都度家族と話し合いを行っている。家族・病院や訪問看護と連携して対応している。看取りを行っており、職員への研修も欠かさず質の向上にも努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置し職員が扱えるよう救急救命法のオンライン研修講義を実施。マニュアルや利用者様の体調変化や受診状況を記録したファイルを作成し急変時対応に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の協力のもと避難訓練を行っている。消防設備の点検や災害に備えた備品の準備を行っている。	消防署立ち合いのもと訓練を行っている。年2回利用者と共に避難訓練を行っている。地区の消防団の協力を得られる体制が取られている。備蓄は施設内に置かれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員一人一人が個人情報の取り扱いについては慎重に行っている。利用者様には笑顔で声掛けができるように心掛けている。	個人情報の保護やプライバシーの確保には気を付けている。必ず声掛けをしてから支援を行っている。利用者に対して、人として尊重する気持ちを全職員は常に持っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様一人一人に合わせた声掛けを行い、困難な方には表情から読み取る等心かけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人その時の体調や気持ちを大切に支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容師に施設へ来てもらい散髪を行っている。入浴時に、白髪を染めて欲しい方は対応する。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホワイトボードに一日の献立メニューを書き利用者様に楽しんでいただく。誕生日メニューには利用者様が食べたいものを提供している。	3食施設内で作っている。色どりなど目で見て楽しみ味わう事を大事にしている。おぼんふき、おしぼりを巻く、お茶の葉をパックに詰めるなど自分なりの役割を持っている。誕生会には好きなものをメニューに反映できる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日チェック表に摂取量を記録しパソコンに入力している。水分量が少ない方には水分ゼリーを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人に応じた介助を行い義歯の方には就寝前に洗浄液につけ清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人にあった週間や記録をみて声掛けを行い、排泄時間を見ている。排便コントロールが難しい方は内服薬で調整している。	利用者の排泄パターンを把握しており、適切に声掛けを行い支援している。夜間は見回りの時にその人に合わせてトイレへ誘導している。排便コントロールについては訪問看護師と相談している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事面で食物繊維の多い食材を取り入れて、自然排便を促すように支援している。排便コントロールが難しい方は内服薬で調整している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	全員平等に週2回は入浴して頂けるようにしている。難しい方は声掛けの工夫や、職員が変わったりして対応している。	週2回の入浴である。入浴を嫌がる時は無理強いせず声掛けの方法を変えたり職員や日を変えたりしている。浴槽に浸かれない人にはシャワー浴が出来る機械を導入した。暖房器具が置かれ気持ち良く更衣が出来る。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は離床して頂き、夜間眠れるように心かけている。ご本人様の体調をみて休息できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	説明書を読み情報共有をしている。変更がある場合は申し送りノートに記入して共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様とコミュニケーションを取りながら、生活歴を知り、できる事の役割を持って頂いている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	できる範囲で、外出や散歩支援を行っている。面会は窓越し面会を行っている。	フェリー乗り場や臼杵城などにドライブに出かけている。天気のいいときは近くを散歩しながら風景を楽しんでいる。近所の店に入りケーキを食べるなど、散歩を兼ねて戸外に出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出や買い物の際は利用者様に支払いをして頂くようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望に沿って、ご家族様に電話ができるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングなどには、季節を感じる飾りつけをしたり明るい空間作りを心かけている。	各所に水槽が置かれ泳ぐ魚が目を楽しませてくれる。ホール内には飾りつけがされており、季節感を感じることが出来る。空気清浄機を設置し換気にも気を付けてコロナ感染を防いでいる。ソファが置かれゆったりとした日々を送ることが出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを設置して利用者様同士が気軽にお話できるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人様の物やご家族様の写真等飾って頂いている。	家族の写真やテレビ、小物などが置かれ、利用者それぞれの個性ある居心地よい部屋作りとなっている。これまでと変わらない雰囲気づくりに配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室にはネームプレートを設置しトイレにも「便所」と表示し分かりやすいようにしている。		